

環境技術研究所ニュース：

環境技術研究所研究員が三重ジュニアドクター育成塾の観察実験講座を実施

2020年8月1日（土）の午前と午後に高橋・武本研究員が三重ジュニアドクター育成塾の観察実験講座を実施しました。この講座は三重大地域理数教育推進室が科学技術振興機構の下に推進しているものです。

四日市大学やユマニテク、鈴鹿高専などが、エリアEとして分担しています。四日市大学からは、廣住・牧田・田中（正）・橋本・大八木の諸先生方がこの後で参加されます。高橋・武本の分担は河川水質の環境評価という題目で、午前中はpHとEC（電気伝導率）、DO（溶存酸素量）の水質分析、午後はCa（カルシウム）とCl（塩化物イオン）の水質分析を実施し、滴定法で値を読み取りました。

生徒は小学高学年生が1名、中学生が5名で、三重大教育学部の荻原教授と四日市中央工業高等学校の先生が監督として参加されました。小・中学生諸君は実験方法の解説は大学生向けに作ったので、モルの概念などが読み込めないようでしたが、いざ実習すると手順どおりに実験し、計数值から電卓等を使って計算し、答を出しておりました。なかなか優秀です。

試験水としては、十四川下流域の水・鎌谷川最上流部の少年自然の家近くの水や中流部の湧水・海蔵川支流の四大近くの部田川の半導体工場からの排水の混じる水や支流の竹谷川、さらに下流部の白鷺橋の水をサンプルとしてそれぞれ1検体ずつ分析させました。



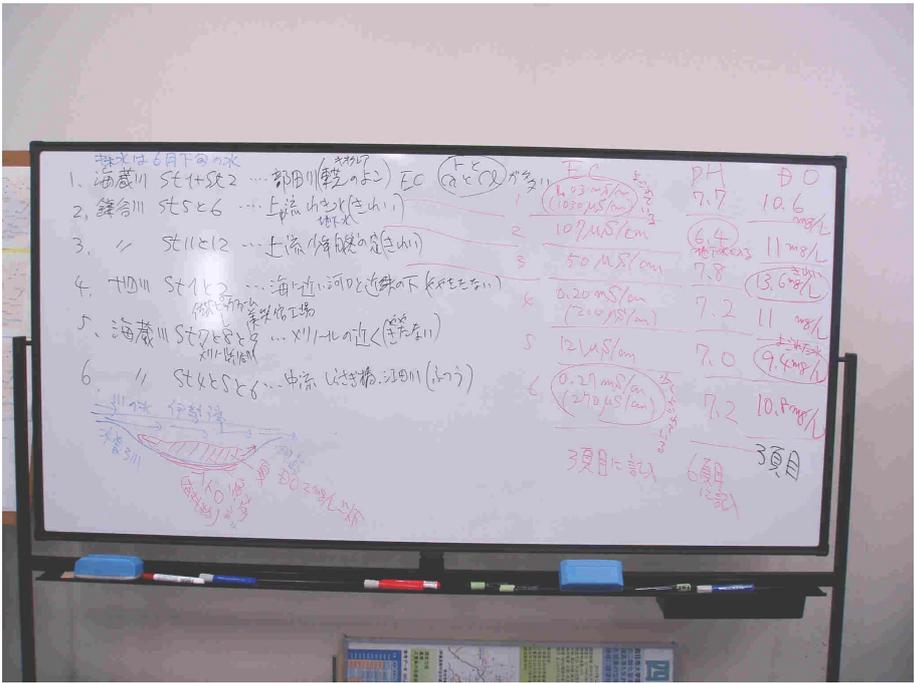
開講の挨拶



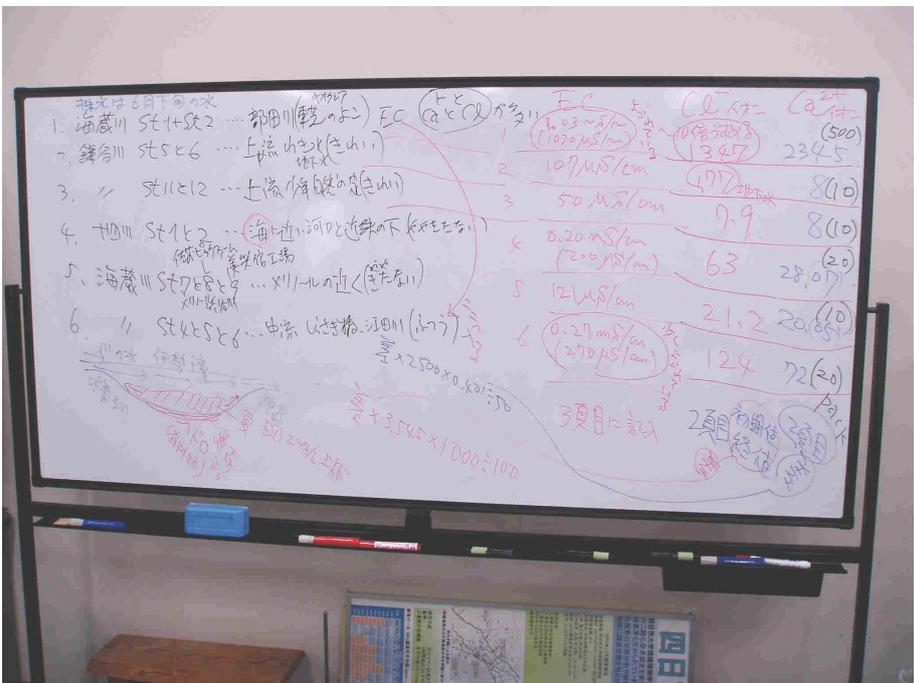
DO（溶存酸素）の分析中の状況



メスシリンダで検水を定量測定



実験結果のまとめ1 (EC, pH, DO)



実験結果のまとめ2 (Clイオン, Caイオン)